

(様式1)

令和元年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県教育文化会館 文化振興課

2 施設所在地
富山市舟橋北町7-1

3 施設設置年度
昭和49 年度

4 設置目的
県民の教育及び文化の向上を図ることを目的とする。

5 施設概要

- ①建物の構造 鉄筋コンクリート造(地下1階地上5階塔屋1階)
- ②敷地面積 3,242.51㎡
- ③建物面積 5,880.21㎡(地下407.24㎡、1階1,576.05㎡、2階1,696.82㎡、3階942.16㎡、4階628.95㎡、5階593.57㎡、塔屋35.42㎡)
- ④施設内容 ホール(621席)、集会室(180㎡)、会議室(90㎡、45㎡×3)、喫茶室(1F)、談話室(1F)、生涯学習カレッジ事務局(2F県占有)、同映像センター(3F県占有)、各種団体使用(4F行政財産使用許可)、映像センターハイビジョン学習室(5F県占有)
- ⑤開設 昭和49年7月

6 指定管理者
公益財団法人富山県文化振興財団

7 指定期間
5 年
平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

H27	H28	H29	H30	R1
102,353	98,990	97,182	96,940	89,735

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

H27	H28	H29	H30	R1
27,134	26,734	25,726	25,768	25,636

(3) 利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

H27	H28	H29	H30	R1
27,626	27,626	27,626	27,626	28,087

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

全国大会や新規の研修会等の開催により、第3四半期まで利用者数・利用料金収入ともに増加傾向であったが、令和2年2月下旬から新型コロナウイルス感染症を理由とした利用の取消が増加し、最終的に利用者数、収入ともに減少した。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・平成26年度から予約システムによる施設予約情報のホームページへの掲示やクレジットカード及び電子マネー決済の普及を図っている。
- ・ホール利用者に対する高度な舞台技術の提供、各種ワンストップサービス(看板手配など)の実施により、より利用しやすい施設運営を心がけた。
- ・平成26年度から設置しているデジタルサイネージ(案内表示板)を平成30年度に更に解りやすい位置へ移設し、利用者を各貸出施設に誘導した。
- ・車で来館する利用者に対しては、平成26年度から高志の国文学館と共同で、警備員による案内誘導を行っている。
- ・平成30年度より大型サイズ(2列×3段)のコインロッカーを談話室に設置し、県内外の利用者等の利便性の向上を図った。
- ・平成30年度にアーツナビシステム(チケット販売システム)を更新し、インターネットクレジットカード決済・コンビニ引取りが可能となり、チケット購入者の利便性を向上させた。
- ・令和元年度よりホール客席用チャイルドチェア及び膝掛け毛布の貸出を開始した。
- ・令和元年度に従来からある授乳室にパネル等を設置し、使いやすく再整備した。

(3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

- ・平成26年度から施設のリアルタイムな予約情報をホームページに掲載している。
- ・利用のキャンセルが発生した場合は、過去の利用者へ積極的に利用案内を行った。
- ・イベントガイド・ホームページを活用し、会議室等の利用促進を行った。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	実施期間：通年、実施方法：利用時にアンケート用紙を配布
回答者数	回答者数：439人
結果	総合的満足度94.5%（職員の対応や設備・備品、清掃等総じて満足度が高い）
結果を踏まえた改善事項	集会室が寒い（暑い）。 ⇒利用者が室内で温度調整することができないため、職員が利用開始前に見回りを行うなど、きめ細やかな室温管理を実施している。 利用者からは概ね満足の声を頂いており、蛍光灯のLED化への転換や接遇を意識した来館者対応など、更に利用者サービスの向上に努めている。

② その他利用者の声を反映させる取組み

- ・施設利用者や主催する企画事業の運営委員の方々から、直接、施設運営等に関する意見を聴取した。
- ・ホームページ上にご意見箱を設置した。

③主な苦情と対応

利用者駐車場が満車で止められない。
⇒ホームページに満車予想日の情報を掲示するとともに、駐車場に警備員を配置して、満車時には近隣の有料駐車場へ誘導し、土日・休日には、一般開放している県職員仮駐車場へ誘導した。
会館北側駐車場入り口のグレーチングの跳ね返り音がうるさい。
⇒グレーチングの取替修繕を実施し、埋込式に変更したことで跳ね返りがなくなり音が出なくなった。

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報を管理する責任者が決められ、管理も適切にされている。

(6) 関係団体との連携

富山県日本舞踊協会との連携による「日本のおどり」事業や富山県邦楽協会等との連携による「とやま青少年伝統芸能祭」事業の開催等を通して、地元文化団体に日頃の活動成果の発表の場を提供した。
また、県企画調整室及び小矢部市観光振興課と連携し、富山県ゆかりの木曾義仲を題材にした開館45周年記念事業の音楽朗読劇「凧音×天声」の広報に努めた。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

舞台機構の点検チェックリスト等を作成し日常から安全点検を徹底した。また、非常時のマニュアルや連絡表を作成するとともに、防災訓練や各種機器の点検なども着実に実施した。
富山中央警察署主催の「富山中央テロ対策連絡会議」(テロ対策ネットワークとやま)に出席し、安全対策について地域との連携を図っている。
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、令和2年2月から、館内空調の外気取込量の増加、ドアノブ等の除菌清掃等を実施した。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	2
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無し

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

老朽化が著しい教育棟の空調設備については、平成29年度に1階空調機、平成30年度に4階空調機更新工事が実施済であるが、残る2～3階についても広く県民に利用される施設であることから、早急な対応が必要である。その他ボイラー設備一式更新やトイレの洋式化等、老朽化の著しい施設設備についても、利用者に不便をかけないように計画的に改修・修繕を継続し、施設の魅力アップを図っていくことが、利用満足度向上のため有効と考える。

今後も計画的な改修によって新しくなった施設を一層利用していただけるよう、また新規利用者の開拓に向けてサービスの向上及び利用促進に努める必要がある。

また、2月下旬から新型コロナウイルス感染症拡大防止対策によりホール等の施設利用取消が続き、収入が大きく減少している。早期終息を見込めない現状であるが、利用者の呼び戻しに取り組む必要がある。

別表

富山県教育文化会館 施設別利用状況

	ホール	集会室	会議室
27年度	59%	51%	41%
28年度	62%	50%	45%
29年度	60%	53%	37%
30年度	56%	52%	37%
元年度	53%	45%	41%